

# 第50回 大阪母性衛生学会学術集会・研修会

## 第50回記念大会 プログラム

会 長 木村 正（大阪大学大学院医学系研究科 教授）  
学術集会長 藤本 昭（友誼会総合病院 産婦人科）

### ＜研修会＞

日 時：平成23年12月11日（日）10：00～12：00

場 所：大阪大学中之島センター（10階ホール）

テーマ：いいお産とEBM

荻田和秀（りんくう総合医療センター）

西 幸江

（奈良県立医科大学 看護部副部長 メディカルバースセンター副センター長）

中川美香（宮崎日日新聞 文化部次長）

### ＜ランチョンセミナー＞

日 時：平成23年12月11日（日）12：00～12：50

場 所：大阪大学中之島センター（10階ホール）

[ランチョンセミナーにて昼食を  
ご用意しております。](#)

### ＜大阪母性衛生学会50周年記念講演＞

日 時：平成23年12月11日（日）13：00～14：00

場 所：大阪大学中之島センター（10階ホール）

竹村 喬（大阪府立母子保健総合医療センター名誉顧問・竹村レディースクリニック院長）

田間恵實子（大阪母性衛生学会 監事）

前原澄子（京都橘大学 看護学研究科長 教授）

### ＜学術集会＞

日 時：平成23年12月11日（日）14：00～16：00

場 所：大阪大学中之島センター10階ホール【第一会場】・7階セミナー室【第二会場】

参加費：2,000円（学生1,000円）

年会費：1,000円（学生500円）

研修会も含む

（平成23年度大阪母性衛生学会に未入会の方は、年会費1,000円を別途申受けます）

## 〈学会場案内図〉



※タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございますので、「**大阪市立科学館 北側の『大阪大学中之島センター』**」とお伝えください。

### ◆電車によるアクセス

京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分

阪神本線 福島駅より 徒歩約9分

JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分

JR環状線 福島駅より 徒歩約12分

地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分

地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。

10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。

※駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。

# Time schedule

	時刻	第1会場（10階ホール）	第2会場（7階セミナー室）
研修会	10:00~10:05	会長挨拶	
	10:05~12:00	研修会 座長：中井祐一郎	
	12:00~12:50	ランチオンセミナー	
	13:00~14:00	大阪母性衛生学会50周年記念講演	
学術集会	14:00~14:05	学術集会長挨拶	
	14:10~15:00	第1群(5題)	第3群(5題)
	15:10~16:00	第2群(5題)	第4群(5題)

## <学術集会>

学術集会長：藤本 昭（友誼会総合病院 産婦人科）

### 第一会場

○が発表者

第一群（5題）14:10~15:00

座長 田中 春美（大阪大学医学部附属病院）

妊婦の外来受診時の医療職者への自己表出と満足度に関する研究

—母子保健教室参加妊婦の質問紙調査から—

○小山田浩子、玉上麻美（大阪市立大学大学院 看護学研究科）

山口文月（大阪市立大学大学院 看護学研究科 前期博士課程）

流産経験妊婦の胎児への声かけと流産時の家族関係に関する研究

—母子保健教室参加妊婦の質問紙調査から—

小山田浩子、玉上麻美（大阪市立大学大学院 看護学研究科）

○井上佳子（大阪市立大学大学院 看護学研究科 前期博士課程）

妊産褥婦におけるドメスティック・バイオレンスに関する調査

—DVスクリーニング（VAWS：Violence Against Women Screen）による調査—

○北栄奈津紀、浅野浩子、杉山結理、宮川祐三子、福井伊左子、  
井上京子（大阪府立母子保健総合医療センター）

妊産褥婦におけるドメスティック・バイオレンスに関する調査

—第2報 ケアの現状と考察—

○北栄奈津紀、浅野浩子、杉山結理、宮川祐三子、福井伊左子、  
井上京子（大阪府立母子保健総合医療センター）

妊娠40週と妊娠41週では周産期予後に差があるのか

○高橋亜季、尾中志津香、井上京子、林周作、光田信明（大阪府立母子保健総合医療センター）

**第二群（5題）15：10～16：00**

**座長 小山田浩子（大阪市立大学大学院 看護学研究科）**

成果を生み出す院内助産システムの組織構造に関する一考察

—英国のBirthing Centre の検証から—

○浅見恵梨子、和木明日香、上田恵子（千里金蘭大学看護学部）  
上野恭裕（大阪府立大学大学院経済学研究科）

新しい育児相談のあり方

○野村 優、江島美恵子、藤原美代子、渡久地裕代、金井万里子、金井宏之（金井産婦人科）

バーシング・センター助産師の価値観に関する一考察

—英国の事例の検証から—

○和木明日香、浅見恵梨子、上田恵子（千里金蘭大学看護学部）  
上野恭裕（大阪府立大学大学院経済学研究科）

助産師の能力に関する一考察

—英国のバーシングセンター勤務助産師への質問紙調査から—

○和木明日香、浅見恵梨子、上田恵子（千里金蘭大学看護学部）

早産児に対するポジショニング施行基準の再評価

—Dubowitz Score（新生児神経学的評価）を指標として—

○岩崎初美、水野 茜、坂本三枝（大阪市立大学医学部附属病院 NICU）

## 第二会場

第三群（5題）14：10～15：00

座長 峰 博子（財団法人田附興風会医学研究所 北野病院）

1か月健診時母乳率低下を防ぐための取り組み

○高野 縁、内海美幸、伊藤幸子、木下 香、岩淵貴子、矢野由美子、高崎理奈、  
今井明子、高祖小百合、谷口 武（定生会 谷口病院）

地域とともに考える母乳育児支援

原 千賀、○作田美穂、内田智絵、吉田ヤヨイ（大阪南医療センター）

母乳育児支援のための新人教育プログラムの効果

○山本早紀、並崎直美、原 千賀、作田美穂、吉田ヤヨイ（大阪南医療センター）

周産期スタッフの母乳育児支援に関する意識調査

～高度周産期医療人養成推進プログラム母乳育児支援研修の効果と課題の検討～

○村田智子（大阪医科大学附属病院）

母乳育児支援マニュアル作成の効果と課題

～早産児・低出生体重児の1ヶ月後を比較して～

○伴海亜樹、脇田美由紀、児玉雅美、副島香織、森川加菜、斉藤百恵（市立豊中病院）

第四群（5題）15：10～16：00

座長 井上京子（大阪府立母子保健総合医療センター）

聴覚障害を持つ妊産婦への個別的関わり

～効果的な意思疎通の為の工夫～

○長友明美、浅野有咲、渡 美奈子、徳永明美、竹村秀雄（小阪産病院）

産婦人科病棟での退院後の継続支援の取り組み

—要養育支援者情報提供票の分析より—

○上田たつえ、三崎美保、高下裕子（大阪市立住吉市民病院）

聴覚特別支援学校教員の思春期性教育に対する思い

○小笹幸子（聖バルナバ助産師学院）

妊婦の背景と健康管理に対する意識

○由比晴菜、大塚容子、平瀬未来、港秋子、渡邊ひと美（聖バルナバ助産師学院 93 回生）

小笹幸子（聖バルナバ助産師学院）

思春期教室を受講した高校生の属性と対児感情・自尊感情との関連

○西上美佐子、采野美緒、川浪史恵、北川加奈子、木田雅美、坂本佳奈美、佐味春奈、

東 有美子（聖バルナバ助産師学院 93 回生）小笹幸子（聖バルナバ助産師学院）

## 企業展示 (順不同)

株式会社 明治  
柳瀬ワイチ株式会社  
有限会社 青葉  
コンビ株式会社  
大衛株式会社